

「あの日」を忘れない！

地震が起きる時間や場所によって被害の状況は様々です。通勤・通学中、食事中、就寝中…。地震はまさに「今」、起こるかもしれません。

● 2011年(平成23年)

■ 東日本大震災

3月11日午後2時46分
マグニチュード：9.0 最大震度：7

死者約2万人、行方不明者2,500人以上、
住家全壊約12万棟(令和2年3月1日現在)

「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第160報)」(消防庁災害対策本部)



▲津波被害(東日本大震災)※

● 2016年(平成28年)

■ 熊本地震

[1回目] 4月14日午後9時26分
マグニチュード：6.5

[2回目] 4月16日午前1時25分
マグニチュード：7.3

国内において観測史上初めて、
同一地域で2度連続して震度7を観測



▲住家被害(熊本地震)※

● 2024年(令和6年)

■ 能登半島地震

1月1日午後4時10分
マグニチュード：7.6 最大震度：7

輪島市内で大規模な火災被害が発生



▲火災被害(能登半島地震)
写真提供：三重県防災航空隊

↓ **20XX年** 今後30年以内に70%の確率で発生
首都直下地震が起きたら足立区では…

<想定される被害>

【都心南部直下地震】マグニチュード7.3、冬の夕方(午後6時)、風速8m/秒の場合

	東京都	足立区
死者数	6,148人	795人
負傷者	93,435人	8,507人
避難者	2,993,713人	286,932人
建物全壊	82,199棟	11,952棟
地震火災 (倒壊建物を含む)	118,734棟	13,546棟

令和4年5月「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」(東京都防災会議)

<足立区の被害の特徴>

火災

細い路地に木造住宅
が立ち並ぶ地域では、
火災の消火活動が困難
となり、大きく燃え広が
る恐れがあります。



▲住家被害と延焼被害の様子
(阪神・淡路大震災)※

建物倒壊

耐震性が十分でない
老朽化した建物は、倒
壊の危険性があります。



▲住家被害(阪神・淡路大震災)※

液状化

砂や粘性土でできた軟弱
な地盤が厚く堆積しており、
地震の揺れが大きくなりやす
く、区内ほとんどの地域で
液状化の可能性があります。



▲液状化によるマンホールの
浮き上がり(東日本大震災)※

こんなことが起きる前に、「**今すぐ**」、
災害への備えをはじめましょう。

※印の写真提供：一般財団法人消防防災科学センター 災害写真データベース

